

【発売のご案内】

(株) 東北協同事業開発から新プライベートブランド販売！

「古今東北」 COCON TOHOKU

11月19日(木)より宮城県内みやぎ生協店舗にて順次販売

株式会社東北協同事業開発は、みやぎ生協が取り組む「食のみやぎ復興ネットワーク」の活動から、新ブランド「古今東北」を開発しました。新ブランド商品を11月19日(木)からみやぎ生協全店で発売致します。

■新ブランド「古今東北」の立ち上げ趣旨

地域で事業を行う生協として、「震災復興」を含めた「地域振興」のために、その役割を担う責任があり、その役割を果たすために立ち上げました。

動機は「震災復興」、そのための目的が「販路拡大」、目標が「東北の地域経済の活性化」です。

—古今東北とは、東北の食の「これまで」と「これから」を紹介するブランドです—

「古今東北」がお届けするのは、東北6県の彼方此方から集めた、選りすぐりの様々な食材や加工品たち。地元で愛されてきた伝統的な食文化を再発見し、多彩な食文化が出会うことで生まれる、新たな食の楽しみも提案していきます。「古今東北」は、日本全国に向けて、いずれは世界の国々に向けて、東北地方の魅力を発信していくブランドです。※「古今東北」は、東日本大震災からの復興を支援しています。

■ブランドロゴ意味

—太鼓判を表すデザインに、私たちの情熱を込めました—

安全・安心で優れた商品であることを訴求するために、確実な保証を意味する「太鼓判」をモチーフにしたデザインです。軽妙なラインで構成された、個性的で洗練された文字を中心に配しながら、それを一層引き立たせるために、印鑑のような四角の矩形に収めることで、ロゴマーク全体としての力強さと存在感を高めました。矩形を彩る、品格と情熱を併せ持つ赤には、美味しく優れた商品を多くのお客様にお届けしたいという、東北協同事業開発と、その活動に賛同する人々の熱い想いが表れています。



反転パターン



モノクロパターン



モノクロ反転パターン



■ 開発商品ラインナップ例

[食のネットワークリニュアル商品]

- 亘理地区の、新「つるんと亘理そば」(規格も価格もリニュアル)
- 岩沼の新「かおりなたね油」(規格も価格もリニュアル)

[震災復興商品]

- 気仙沼「しっとりびんちょうピリ辛ツナ缶」(再建された工場)16年予定
- 釜石「三陸じっくり熟成サバ味噌煮」(再建された復活した工場)
- 石巻十三浜「しゃきっと湯通し塩蔵わかめ」(復活した漁場で)
- 盛岡の蔵・赤武酒蔵の「とろんと純米酒」(岩手県大槻町で被災、盛岡で復活)
- 南三陸「しゃきっと小松菜」(津波の後にハウス再建)

[東北の原料応援]

- 岩手県湯田の「ぷるんと食べる牛乳寒天」
- 岩手県軽米町の「生搾リエゴマ油」
- 岩手県盛岡の「つるんとお米粉はっと」

■ 販路等

コンセプト	販路について
<ul style="list-style-type: none"> ● 東北原料 ● 東北復興工場 ● 美味しさ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「古今東北」ブランドは販路の制限がないので、ブランド商品を増やすことで、産地や工場の販路拡大支援を行うことができます。産地や工場の生産計画に合わせて、その成長を支援できるので、長期で東北の産業の成長に貢献できます。アイテム数は発売時約40アイテム、販路は「東北の生協」「全国の生協」「全国の小売」「外食」「生産工場」「ネット」「海外」などになります。



あしたへつなく、おいしい東北。



[ポスター]



[商品写真]



〔記者会見集合写真〕 右から
みやぎ生協 理事長 宮本弘
フィッシャーマンジャパン共同代表理事
イベント事業部長 阿部勝太様
星農場 星達哉様

赤武酒造株式会社
代表取締役 古館秀峰様
(株)東北協同事業開発取締役 丹野潤一

■ 関係企業

【(株)東北協同事業開発】

今年4月に設立し、みやぎ生協が担っていた食のみやぎ復興ネットワークの事務局機能を移行させました。今後は宮城だけでなく東北の食資源を活用した商品を開発して全国へ発信し、豊かな地域づくりと継続的な被災地復興へつなげます。

【食のみやぎ復興ネットワーク】

東日本大震災で被害を受けた宮城県内の農・水産物生産者や食品製造・加工業者、みやぎ生協などの協同組合が、互いに励まし合いながら地域産業の復興を目指すため、2011年7月に結成しました。「わたりのそばプロジェクト」「なたねプロジェクト」などを立ち上げ、栽培や商品開発、種まき会や花見会などのイベント開催を通じて生産者を応援しています。